


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』 No.10	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2016, 10, 21~23
--	---

第10回活動「紅葉の藤原」と事前調査

ストーブからは白い煙が立ち、田んぼの向こうには紅葉の山々が見えました。

古民家からみえる風景は、動くもの動かないものすべてを一つの風景の中に共有してくれました。

1, 日時: 2016年10月21(金)~23(日) 全日

2, 天気: 晴れ~曇り

気温の変化

	21(金) 快晴	22(土) 晴れ	23(日) くもり
気温	3, 5℃	10, 6℃	11, 1℃
部屋の温度	5, 0℃	12, 6℃	11, 1℃

3, 交通: 現地集合

4, 場所: ○みなかみ町藤原一畝田の古民家

○富岡製糸場および荒船風穴の事前調査(参加者3名)

5, 参加者: 総数 10人

内訳	家族3	大人	3
		中学生	2
		小学生	3
		幼児	0
		スタッフ	2

6, 活動の様子

○一日目

快晴の中、3人で富岡製糸場や荒船風穴の事前調査に回る。自然の冷気を利用した蚕の卵の保管所である荒船風穴は、その知恵に感心した。昼食で食べた名物「下仁田カツ丼」は、二段重ねのカツとタレのかかったご飯が絶妙にコラボしていてとても美味しかった!

藤原の古民家には午後5時過ぎに到着し、暗くなり始めた中を、まずは暖を起こそうと、ストーブの火付けを始めた。囲炉裏の部屋を整理し、もやし炒めをおかずにして、やっと炊けたご飯とみそ汁で、3人だけの夕食が始まった。

部屋の温度は5℃と、だんだん寒くなっていく。囲炉裏に炭を増やし、回りをカーテンで覆うと、なんとなく暖かくなってきた。寝袋の回りにフトンや毛布を敷いて就寝についた。

就寝前の星空観察では、天の川とともに夏の大三角形やカシオペア座が見えていた。

○ 二日目

朝6時30分に、NHKのラジオ体操が聞こえてくる。春日さんの車からだ。久しぶりに体を動かすと、体のあっちこっちが痛い。つまり、動かなくなっていることに気づく。

白い煙の上るストーブを囲んで、昨夜の残りご飯にみそ汁をかけただけのおじやを食する。冷氣と紅葉とストーブ、その朝食の、いいんだな、これが！トイレに通じる渡り板を太い柱に取り替え、民宿へ挨拶回りをし、上ノ原を見てくると、仲間がバス停に到着する時間になった。

3家族が到着。荷物は車で運んでもらう。残った9人は、マルシェを物色してから、古民家までを歩いた。ドングリや栗を拾ったり落ち葉を踏みしめたりしながら、ゆっくりと話をしながら進んでいく。この時間が、また良いのだった！車で行ってしまえば、なんにも気づかないことばかりだった。

古民家で昼食後、上ノ原へ自然散策に向かう。林道工事中だ。十太郎沢の泉は、7月の時と同じように、ちょろちょろと水が出ているだけだった。その十太郎沢に沿って、ススキ原を登りヤマブドウの太い蔓を見ると、もうすぐはその泉だ。その水面に針がねのような黒っぽいものに気づいた。きっとカマキリの腹から飛び出したハリガネムシの幼虫にちがいないと思った。手に取ってしらべてみると、案の定、ハリガネムシだった。あっちにもこっちにもある。前回見たのは、白く長かった。この水は、何軒かの飲料水になっているという。

ミズナラ林を登っていくと、山道に枕木のように木を並べてある。歩きやすくするためかと思いつながら進んで行くと、木を積んだソリがおいてある。そうか、ここは木馬道だ。そのソリを再現したのだと、気づいた。惣一郎さんがおっしゃっていたのは、これだった。

○ 三日目

今日は、雨呼山登山だ。9:00出発。古民家の裏に登山口がる。杉林を通り、ナラ林をトラバース気味に歩いていくと、稜線にでる。ここから夫婦松を超え政五郎山までが一番キツイ道だ。後は、のんびり周りの黒文字やカエデを見ながら歩いていくと、頂上に着く。ここからの眺めは最高だ！里地里山の藤原が、とても豊に見えてくる。太陽の恵みを受けた林・田んぼ・畑、そして岩魚の住む清流が流れているのだから……。下山は、延命龍神水によりありがたい水を求めたが、涸れていた。

○ 古民家は活動領域を広げてくれる！

4・7・10月の、3回のべ8日間の利用を通して色々気づいたことは、

①ストーブのエネルギーは、すごい！

薪や炭を燃料として、ストーブや七輪で煮炊きや暖房として利用してきた。料理は美味しく出来上がるし暖房は気持ちがいい。なによりも、その周りに人が集まることだ。なんとなく集まり、たわいない話をしたり、スルメを焼いたり、酒を燗をしたり……。自在鉤に吊されたやかんから出る湯気の風景は、心を和ませてくれた。

②活動を、心おきなくできる！

草木染め・竹箸作り・弓矢作り・すだれ作りなどは広いワンフロアにテーブルを出せばよい。外に出れば、汚れを心配しないで水をじゃぶじゃぶ使える。何よりも、子どもたちがかたまって遊べることだ。

③囲炉裏を囲んでの語らいは、最高！

炭火で岩魚を焼き、その横で酒の燗をする。おちょこに注ぎ注がれば、笑顔と語らいが満ちてくる。酔えば、そこで寝ればいい！

④拠点から輪が広がる！

回りの畑・田んぼ・裏山の雨呼山登山・岩魚釣り、近くの体育館やサッカー場など、利用できる場所のイメージが広がる。

すぐ下の畑を貸してもらい、駐車場や野菜作りにはどうだろうか？

⑤地域の交流と共生の実践

7月と10月の活動では、「地域の食材をいただく！」をテーマに、食材・酒類などの購入を藤原地域で試みた。高田さんからはじゃがいも・きゅうり・モロッコインゲン・ミニトマト・ねぎを、冷凍餃子をペンションパルから、酒類は中村酒店から購入した。また、阿部さんからはおかずを、関ヶ原からは新米の差し入れをいただいた。すぐ近くにある体育館も、料金を支払い利用させてもらった。

出たゴミ類は、資源ゴミは中村酒店に引き取ってもらう。生ゴミは、中学生が畑に穴を掘り、そこに埋めた。その他のゴミ類は会員が分担して持ち帰った。これらの活動も、地域との交流であり共生を目指すと考えている。

民宿を利用していたときは、宿泊費を支払い、ゴミは出し放題で、すべてを賄ってもらっていたことを考えると、大きなちがいである。

7. 親と子の、いきいき感想

○ 3日間、ありがとうございます。ラーメン、おいしかった。

山のくりひろい あながあいてる くりっばい

五色桜小5年

○ きょうは、がくどうのじゅうくまつりができなくて、ざんねでした。

山のぼり たいへんでした つかれたよ

栗原北小2年

○ 火あそび（起こし）、さいこう！三日間、ありがとうございます。

カツ丼（下仁田カツ丼のこと）が、しつこくなくて、うまかった！

沼田中3年

○ 印象に残ったことは、みんなで遊んだことです。おにごっこや、みんなでご飯を食べたりしました。それと、2日目のラーメンです。とてもおいしかったです。

栗ひろい 大きい栗が たくさんだ

第七中2年

○ 火遊びや、栗ひろいなどの遊びや、集団生活の楽しさを知りました。

2日間ありがとうございます。

山道で 栗がお宝 ざっくざく

鹿浜第一小6年

# 古民家周辺の地図

< 一畝田地区 >

